

小野市議会だより

2026. 2
No. 220



長きにわたり地域を見
守るように、旧曽根小学校の石
柱が今も曽根町公民館前に建ってい
ます。伝統と歴史を誇る曽根校の校章
が曽根町の町章として制定され、公民館
の壁面に輝いています。地域住民の心の
ふるさととして子孫に敬愛されること
を祈念されたとおり、次の世代へ
と継承され、郷土を愛する心
を育んでいます。

曽根町公民館（旧曽根小学校跡）

きてみて市議会本会議

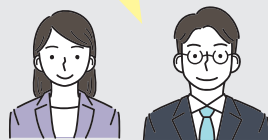
～小野市の未来をともに考えよう～

令和7年12月定例会では、27日間にわたり、本会議や委員会で18件の議案を審議・審査。議案内容などについて市長をはじめ執行機関に説明を求め、議決をしました。また、一般質問では2日間にわたり12人の議員が市政全般（行政の運営状況や将来の方針、住民生活に関わる課題など）について質問しました。

今回は特集として
12月定例会の流れをご紹介します。

本会議を見に行こう！

傍聴の仕組みについて解説していきます。



本会議はYouTubeでのライブ中継、録画配信も行っていますが、小野市政についてどんな話し合いがされているか実際に自分の目で見て、肌で感じてみませんか？
(年間傍聴者数約180人)

12月23日(本会議4日目)

追加議案上程・説明

1件の追加議案が上程され、議案の説明を受けました。

委員会付託、委員会審査

本会議休憩中に予算決算常任委員会を開催し、追加議案について審査し、委員会としての賛否を決めました。

委員長報告・討論・表決

本会議において各委員会での審査経過、結果を各委員長が報告し、討論を経て各議案に対する表決を行い議決します。4日目に16件の議案を議決しました。

12月定例会閉会

11月20日(本会議1週間前)

議会運営委員会

定例会で審議される議案や議事日程の取扱いなどについて協議し、決定します。

会期日程をチェック！

まず本会議が開会される日程をホームページや議会だよりで確認します。

次の本会議はいつだろう？



市役所6階へ！

託児申し込み済みの方はお子様と一緒に6階へ！



東エレベーターで6階へ！

受付をしよう！

受付で住所、氏名を記入します。



注意事項をチェック！

傍聴席での写真撮影や飲食は禁止です。携帯電話はマナーモードに。



本会議スタート！

議場の入り口で資料を受け取り、傍聴席へ。(定員38人)



いよいよ始まる…

12月18日

委員会審査

予算決算常任委員会(7件)、総務文教常任委員会(6件)、民生地域常任委員会(2件)が開かれ、付託された議案について慎重に審査し、委員会として賛否を決めました。
()内は委員会での審査件数

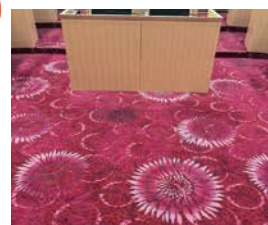
12月11日(本会議2日目)

一般質問

議員7名が一般質問を行いました。小野市では議員1人あたり40分の発言時間が設けられています。

議場トリビア 1

議場の絨毯のデザインは市花のひまわりらしい



12月12日(本会議3日目)

一般質問

議員5名が一般質問を行いました。

追加議案上程・説明

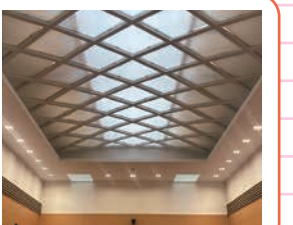
9件の追加議案が上程され、議案の説明を受けました。

委員会付託

提出された議案について、審査する委員会を決定し、審査を付託しました。

議場トリビア 2

議場の天井のデザインは伝統産業のそろばん玉らしい



提出議案と審議結果



★全会一致で可決・同意した議案

区分	議案番号	議案名
補正予算	第48号	令和7年度小野市一般会計補正予算（第3号）
	第56号	令和7年度小野市一般会計補正予算（第4号）
	第57号	令和7年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	第58号	令和7年度小野市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	第59号	令和7年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	第60号	令和7年度小野市水道事業会計補正予算（第2号）
	第61号	令和7年度小野市下水道事業会計補正予算（第2号）
	第65号	令和7年度小野市一般会計補正予算（第5号）

条例	第49号	小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第50号	小野市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第51号	小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
	第62号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	第63号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事	第54号	小野市公平委員会委員の選任について	小野市中谷町	松井 誠 氏
	第55号	小野市固定資産評価審査委員会委員の選任について	西宮市泉町	小林 典代 氏

その他	第52号	小野市学習等供用施設（コミュニテイ供用施設）の管理に係る指定管理者の指定について
	第53号	市道4309号線道路改良工事に伴う池の下踏切道拡幅工事に関する基本協定の変更について

★賛否が分かれた議案と審議結果

本会議4日目の様子はこちら



議案名等			議決結果	賛成	反対	おの未来図			市民クラブ			創生おの		公明党		躍進の会		無会派	無会派	無会派	無会派
						前田昌宏	堀井ひさ代	山本麻貴子	小林千津子	河島三奈	前田光教	山本悟朗	平田真実	川名善三	村本洋子	河島信行	安達哲郎	宮脇健一	藤原章	喜始真吾	高坂純子
条例	第64号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	11	4	○	○	○	○	○	○	※	○	○	●	●	●	●	○	○	

※ 平田真実議員は、議長のため表決権はありません。

賛成＝○ 反対＝●

審議議案の中から PICK UP!!



ハケ池自然公園(河合中町)

一般会計補正予算第3号（議案第48号）
小野ハケ池自然公園を大規模改修
開園から19年が経過し、経年劣化が進んでいるため、安全安心な施設への改修工事を行います。地域防災拠点であることから、マンホールトイレなどの新たな防災施設を整備します。

・事業内容 園路広場改修工事（屋外コート、多目的コート）、多目的ドーム改修工事、遊具更新工事、防災施設整備工事。

・全体事業費 2億2,000万円（うち防衛省補助金1億4,666万円）

・令和7年度事業費 1,294万円（うち防衛省補助金862万円）

令和7年度は、実施設計を行います。

一般会計補正予算第3号（議案第48号）
刈草等の堆肥化に取り組みます
現在、年間約900トン発生している刈草や剪定枝はクリーンセンターで焼却していますが、「ごみ」を「資源」と捉え、刈草等を堆肥にリサイクルする事業を令和8年度から開始します。

そのため、一般廃棄物最終処分場に隣接する市有地を刈草等の置場として整備します。堆肥の一部を市のガーデニング事業に活用することで、市内における資源の循環利用を推進します。本取組により、小野市のリサイクル率は大幅に上昇する見込みです。

・事業費 1,295万円

（議案第51号）
小野市火災予防条例の改正について
全国的に林野火災が増加し、規模が拡大して大きな被害を与えています。実効性のある林野火災の予防を目的として、市長が火の使用制限の努力義務を課す注意報を発令したり、火の使用制限の区域を指定できるようにになりました。状況によっては畔焼き等の中止も要請できるようになります。なお、個人が畔焼き等を行う場合も消防署への事前連絡が必要です。



予約申込はこちら

一般会計補正予算第5号（議案第65号）
第7弾おの恋らっきやプレミアム商品券が販売されます
物価高騰が続くなか、市民の生活支援と市内での消費喚起による市内事業者の活性化を図る経済対策として、昨年度に引き続きプレミアム率50%の「おの恋らっきやプレミアム商品券」が販売されます。購入には予約が必要です。

・事業費 3億3,300万円（国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用）

・対象者 令和8年2月1日時点で小野市に住民票がある方

・販売内容 1万5千円分の商品券を1万円で販売（地域利用券6千円、共通券9千円）

市民1人につき最大2冊まで

小野市公式LINEまたはハガキ

予約方法 ※LINEからの予約の場合、市公式LINEアカウントの友達追加が必要です。

・予約期間 令和8年2月2日（月）～2月28日（土）

・購入期間 令和8年3月25日（水）～9月23日（水）

・利用期間 購入期間と同じ

・販売場所 小野市伝統産業会館または郵便局

・問い合わせ先 産業創造課商工振興係

☎0794-17017137

第456回
12月
定例会

会議期間27日間
11月27日～12月23日

市長提出議案：18件
（補正予算8件・条例改正6件・人事2件・その他2件）

ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に関わるについて、
12人の議員が
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)

●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下にQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



河島信行議員（躍進の会）



QRコード



物価高騰対策について

答弁 プレミアム率50%の商品券を発行する

質問 市民が物価高騰に苦しむ今だからこそ、過去の実績も鑑み、新たな緊急支援策として、プレミアム率30%の「おの恋らっきやプレミアム商品券」を発行し、さらに全世帯に一律5,000円の「おこめ券」の配布を提案することについて、当局の考えを伺う。

答弁 第7弾となる「おの恋らっきやプレミアム商品券（プレミアム率50%）」を発行する。既に市民の方は使い慣れており、プレミアム率を乗せた購入型の商品券とすることで、地域経済活性化に寄与すると見込まれる。なお、商品券でお米を購入することも可能なため、おこめ券の配布は考えていない。(市当局)

答弁 発行の時期は、令和7年度末（令和8年3月末）までに実施する。(市長)

質問 「白雲谷温泉ゆびか」の駐車場の外灯の増設等について

答弁 現在、外灯10基を設置しており、適宜、設備の更新やLED機器への交換等を行い、駐車場法で定める照度を満たしている。「白雲谷温泉ゆびか」は、市内外から年間約30万人、累計720万人を超える来館者をお迎えし、「自然との調和」や「四季折々の彩り」、「重厚感」などを満喫いただき、好評を得ている。オープン当時から守り続けてきたイメージを守り続けたいと考えていることから、駐車場の外灯の増設及び温泉の玄関口を明るくすることについては、現在のところ考えていない。(市当局)

小林千津子議員（市民クラブ）



QRコード



認知症の早期発見について

答弁 「もの忘れ検診」の周知を行う

質問 アルツハイマー型認知症の新薬2種類が保険適用になり、医療機関での使用が進んでいる。この新薬は、認知症の軽い症状の期間を引き延ばす薬であるため、早期発見が極めて重要であり、「もの忘れ検診」の周知及び啓発はどのようにされているのか。

答弁 「もの忘れ検診」は、令和2年度より早期発見と認知症本人及び家族等の早期支援を行うため開始した。比較的若い高齢者からの申請も増加し、検診の受診者は、令和6年度で85人と年々増加傾向にある。今後も認知症の早期発見、早期対応につながるよう医療機関や関係機関と連携し周知を行っていく。(市当局)

答弁 昨年度は養成講座を6回開催、高校生を含め約200名の方が

受講した。また、市内全小学校の4年生約400名を対象に毎年認知症キッズサポーター養成講座を開催し、認知症について正しく知り、その気付きを家族と共有し地域に広めることを目的としている。(市当局)

給食費無償化について

質問 次年度より、公立小学校を対象に保護者の所得に関わらず給食費無償化に向けて検討に入ったと新聞報道があったが、当局の考えを問う。

答弁 学校給食法の理念を尊重した上で国の方針に沿った対応を行い、小学校については次年度より給食費の無償化を実施する。一方で、中学校については今後の対象範囲拡大の動向を注視しつつ、国の方針に沿った対応を行い、安全安心な学校給食を提供していく。(市当局)

川名善三議員（公明党）



QRコード



市民後見人制度の活用促進について

答弁 活用促進に向け、市民や関係機関に周知する

質問 市民後見人制度の活用に向けた市の取組は。

答弁 市では、相談窓口として「地域包括支援センター」や「障がい者基幹相談支援センター」で行っているが、本年4月から新たに「小野市成年後見サポーター室」を設置。市民後見人制度を含めた成年後見制度の利用促進に向けて、市民や介護・福祉・金融機関などの各関係機関に対し、さらなる周知を行っていく。(市当局)

算数障害について

質問 算数障害が疑われる児童生徒へは、どのように対応されているのか。

答弁 算数障害（ディスカリキュリア）が疑われる児童生徒への対応については、早期発見と年齢に応じた適切な支援が重要である。市では、5歳児発達相談事業や教育相談等により、数概念や読み書きの困難などを含む発達障害を早期に把握し、小学校入学時から適切な支援ができるよう、丁寧な引継ぎにより、就学前から切れ目のない支援を実施している。(市当局)

成年後見人等送付先住所変更の括手続について

質問 利用者の手続負担の軽減と行政事務の効率化が見込めるが、導入に向けた検討は。

答弁 現在、今年度開設した「成年後見サポーター室」では、各種サポートを行っているが、成年後見人等の



万が一に備えた熊対策について！

答弁 県、警察等関係機関と協議を図り、対応していく

質問 全国で相次いでいる熊被害について、小野市でも数件熊と思われる目撃情報があるが、小野市の現状について問う。

答弁 目撃情報に対して、足跡や痕跡写真を兵庫県森林動物研究センターに確認を依頼したところ、熊と断定できる情報はなかった。総合的に判断すると、熊が出没した可能性は極めて低い。

質問 緊急銃猟を含めた小野市としての鳥獣対策を問う。

答弁 兵庫県および警察署等関係機関と協議を図りながら「緊急銃猟対応マニュアル（仮称）」の作成から進めていきたい。

質問 狩猟免許を持った方の高齢化が進んでいる。新たな人材確保に向

けて、狩猟免許取得の促進をどのように進めていくのか。

答弁 平成27年度から、狩猟免許取得の補助制度を開始している。ここ数年では、毎年4、5名の方が狩猟免許を取得している。ホームページや防護柵設置の説明会等で周知を行い、狩猟免許取得の促進をしたい。

質問 ガバメントハンターの設置や、県警OBの青パト隊員に狩猟免許取得を推進し、人材確保に努めることについて。

答弁 熊に限らず、緊急の事態になれば青パトや警察等と連携して対策にあたるので、ガバメントハンターの設置や青パト隊員への狩猟免許取得については考えていない。



らっきやで 物価高騰対策も！

答弁 プレミアム率50%の商品券を6万冊発行！

物価高騰対策（重点支援地方交付金）について

質問 物価高騰対策、交付金と市の財政支援の考え方を問う。

答弁 令和7年12月11日時点で、国からの交付財源規模は示されていないが、第7弾「おの恋らっきやプレミアム商品券」を6万冊発行する。既に市民には周知の商品券で使い慣れており、地域循環型商品券として地域内でお金が流通し、地域経済への波及効果が見込まれる。第6弾までの発行総額は約29億円で、今回は9億円となり、経済効果を期待する。

消防活動について

質問 救急搬送とは異なる、気になる119通報、関係部署との情報共有は？また、はしご車や通信システムの共用について問う。

答弁 消防本部では常日頃から高齢者や支援を必要とする方々の情報を関係部署と共有し、市が一体となって迅速かつ包括的な支援に取り組んでいる。人口減少、財政負担から機器等の近隣消防との共用も実現の可能性を探っていきたい。

水道事業について

質問 人工衛星を活用した漏水調査は？また、国・県が推進する水道事業の広域化について問う。

答弁 衛星を活用した漏水調査は効果があり、121箇所を検知し、現地での音聴調査により、58箇所の漏水が判明した。また、広域化の取組は、4市1町で水道メーターの共同購入にとどまっているが、さらに、水道施設の補修資材保有リストの共有化などソフト面での連携を進めている。



「こども誰でも通園制度」開始！

答弁 令和8年度の事業開始に向け準備を行っていく

質問 従来の「一時預かり」と「こども誰でも通園制度」の違いや併用について

答弁 「一時預かり」は、保護者の立場からの必要性に対応するもので、月額2,500円、半日1,250円で利用上限はなく、未就園児を持つ家庭が利用できる。「こども誰でも通園制度」は、保護者のために預かるものではなく、家庭にいないだけでは得られない様々な経験を通じてこどもが成長していくようにと、こどもの育ちを応援することが主目的である。1時間300円で、月10時間を上限に、0歳6か月から満3歳未満の未就園児が利用できる。併用も可能なため、選択肢が増えることとなり、子育て支援の環境整備が進むと考えている。

質問 今後の予定等について

答弁 事業参加を募ったところ、亀鶴こども園と白百合こども園の2施設の事業参加意向がある。各園の定員は11人ずつの予定。利用時間は月10時間を上限に1時間単位で利用でき、平日の9時から15時を予定している。利用者は、スマホ等他市町の事業所への申込みも可能な総合支援システムを利用する。

質問 支援の必要な子どもの受入れについて

答弁 利用開始前の事前面談で各施設長が利用の可否を判断。医療的ケア児の受入れは、通常保育においても体制確保が難しい。亀鶴こども園には、看護師を配置しているので、一定のケアを要することも受入れが可能と考えている。



どう伸ばす 国保のがん検診

答弁 特定健診とがん検診をセット受診で無料化

質問 国保加入者のがん検診受診率を伸ばす取組は

答弁 検診による早期発見の重要性を町ぐるみ健診申込書の配布や広報の特集記事などで市民に啓発している。今年度新たな取組として、集団健診の申込者で大腸がん検診に申し込まなかった方に検査キットを送付した。その結果、大腸がん検診受診者は昨年度と比較して560人増加し、2,567人となった。

質問 がん検診の無料化はできないか

答弁 40歳から74歳の方を対象に、特定健診とがん検診をセットで全額助成する新たな事業を「国保ミニンドック」と称し、来年度からの実施を計画しており、健診の習慣化につなげたい。

質問 鳥獣の侵入防止対策の課題は

答弁 防止柵設置が困難な場所に二層目の防止柵の設置や、防止柵の更新・修繕作業についても検討していく。

質問 「環境森林贈与税」を活用して、人と野生動物の棲み分けを図る緩衝地帯をつくれな

答弁 緩衝地帯の管理体制が定められていない現状での実施は難しい。

質問 スマート鳥獣被害対策の推進について

答弁 箱わなにイノシシ等が入ったことを通知するためのカメラや通報装置等のIT機器の必要性及び費用対効果を検討する必要がある、直ちにスマート化は考えていない。

堀井ひさ代 議員（おの未来図）



ひきこもり支援体制等について

答弁 関係部署と連携し包括的かつ継続的に支援

質問 「ひきこもり個別相談」の申込方法は電話・来所になつていますが、メールやLINE等で受付できないか？

答弁 事前フォローを実施したいため電話・来所としているが、メール・LINEでも受付対応している。（市当局）

質問 ひきこもり状況から改善した一番の要因は「家族や親戚の助け」である。家族への支援について伺う。

答弁 今年度からひきこもりへの理解を深め、当事者への正しい接し方等を学ぶ「CRAFTプログラム」を実施。7家族9名が参加され、「接し方がわかり、気持ちに余裕が持てるようになった」等の感想をいただいている。（市当局）

防災訓練等への補助金について

質問 防災訓練は、年齢や性別に関

係なく参加でき、地域コミュニティの活性化や、ひきこもり・認知症支援にもつながるのではないかと考える。行政が場を整えることは重要であり、その一環として防災訓練時の炊出し等の材料費や防災備蓄品の購入代金等の一部を補助することはできないか。

答弁 現在、防災訓練等の活動をされている自治会は約3割弱で、実施率が低いことを危惧している。市が場をつくることは第一に大切であるが、最終的には「自助」・「共助」が災害からの防衛策となる。補助金については「地域のきずなづくり支援事業」のメニューとすることが効果的かどうか、また、公民館の備蓄品等の支援も含め、住民の皆様が安心して避難いただけるよう、今後の研究課題としていきたい。（副市長）

喜始真吾 議員（無会派）



図書館東地区土地区画整理事業について

答弁 計画区域の変更による支障はない

質問 計画区域の形状が変わったことで事業に支障はないのか。

答弁 令和9年度に事業着手する見込みで、商業施設等の具体的な配置についても支障はない。（市当局）

質問 事業化パートナーとの連携について

答弁 市としては、地権者と事業化パートナーとの調整役として、関係機関との協議に参加し、事業が円滑に進むよう支援するとともに、事業着手後においても可能な範囲で支援していく。（市当局）

質問 イオンとの包括・地域連携協定の内容は？

答弁 シビックゾーンの魅力創出と活性化、イベントやマルシェの開催、駐車場の相互利用、公共交通との連携協力等を掲げている。（市当局）

質問 シビックゾーンの活性化に向けたイオンとの具体的な取組は？

答弁 施設の相互利用などを行うことで、利便性の向上、にぎわいの創出によりまちの魅力アップにつなげていきたい。（市当局）

質問 下水道管の小口径管を対象とした調査について

答弁 地区ごとに下水道管内の流量調査、カメラ調査を実施し、調査で判明した下水道管の接合不良や割れ等不具合の箇所について随時修繕を実施している。（市当局）

質問 調査方法について

答弁 マンホール内に流量計及び水位計を設置し、汚水量の変動を調査し、調査区域を特定する。その後、管内部の状況についてカメラを使用して異常箇所の調査をしている。本市の下水道管は塩ビ製とコンクリート製の管を使用しており、良好な状態であることも確認できた。（市当局）

山本麻貴子 議員（おの未来図）



離婚後共同親権について

答弁 リーフレット等を渡し周知に努めている

質問 令和8年4月から施行される共同親権制度については、離婚時の共同教育計画書作成や離婚後の面会交流、養育費を取り決めることなどの支援が必要と考えられる。そこで、離婚届提出前の説明や資料提供、相談窓口について、市の対応は。

答弁 離婚後共同親権に関して、子育て支援課ホームページ上で積極的に周知をしている。市民課窓口へ離婚届を取りに来られた方にはリーフレット「父母の離婚後の養育に関するルールが改正されました」などをお渡しし、離婚前に共同親権等について考える機会を提供している。（市当局）



（市当局）

「おのスキッとポイント」について

質問 ボランティアをしたい個人と、受入れ事業所や団体とのニーズをつなぐ仕組みを、スキッとポイント事業に組み込むことはできないか。

答弁 ボランティア活動については、マッチングも含め、社会福祉協議会が行っている。一方で、スキッとポイント事業は、健康づくりやボランティアの取組に対してポイントを付与し、市民の健康増進を後押しする施策である。今後もポイント対象事業の追加や必要に応じてアプリ機能の拡充などを行いながら、市民の社会参加の選択肢の充実に向けて取り組んでいく。（市当局）

宮脇健一 議員（日本維新の会）



妊娠期の支え合いについて

答弁 時代に合わせた事業展開を研究していく

質問 妊娠期から地域で支え合いが生まれ、次の世代へ循環していく仕組み作りについて、当局の考えを伺う。

答弁 妊娠をきっかけに人とのつながりを形成し、出産後まで連続した共助の循環を作ること、子育て期の安心感を高めることにもつながると考えている。現在、小野市では保健センターにおいて「妊婦サロン」を2か月に1回開催し、助産師が中心となり、5人以内の小規模グループで妊婦体操や座談会を行っている。その中には経産婦の方もいるため、ピア的な情報交換ができる場となっている。市としては、今後も市民ニーズを確認しつつ、引き続き時代に合わせた事業展開を研究していく。（市当局）

父親の関わり促進について

質問 父親の関わりを育てる仕組みづくりについて、当局の考えを伺う。

答弁 妊娠期から父親が関わることは、母親の身体的・心理的な負担の軽減や家庭全体の安定につながるとともに、こどもにも好影響を及ぼす重要なポイントと考えている。市では、「パパママサロン」を2か月に1回実施しており、令和6年度は59人参加された。この教室では、赤ちゃんの抱き方や沐浴、オムツ交換等の育児方法を学ぶことができ、併せて妊婦体験も実施している。また、教室に参加できない方のために、「初めての子育て動画」を市ホームページやおのっこナビから配信している。市としては、妊娠中から妊婦のサポートや父親になる準備ができるよう、積極的に情報発信をしていく。（市当局）

常任委員会審査報告

12月定例会の提出議案について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

《予算決算常任委員会》

12月18日、23日開催

付託議案数：8件（議案第48号、第56～61号、第65号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

議案第48号 令和7年度小野市一般会計補正予算（第3号）について

八ヶ池自然公園のマンホールトイレの設置など防災機能を高める整備の内容について、また、道路台帳更新事業においては、道路網整備に伴い新たに県から市へ移管される道路等についてなど、詳細に確認を行いました。

議案第65号 令和7年度小野市一般会計補正予算（第5号）について

第7弾となる「おの恋らっきゃプレミアム商品券事業」については、迅速な事業実施に向け、購入場所や購入方法及び発行枚数等の確認を行いました。

《総務文教常任委員会》

12月18日開催

付託議案数：6件（議案第49号、第51号、第52号、第62～64号）

審査結果：【議案第49号、第51号、第52号、第62号、第63号】反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

【議案第64号】反対討論があったものの採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと決定。

●主な審査内容

議案第49号 小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

刈草等の再生利用事業の実施にあたり、混乱を招くことが無いよう処理手数料の区分の確認を行うなど、各議案について多方面から確認を行いました。

《民生地域常任委員会》

12月18日開催

付託議案数：2件（議案第50号、第53号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

議案第53号 市道4309号線道路改良工事に伴う池の下踏切道拡幅工事に関する基本協定の変更について

列車運休を伴う昼夜連続工事において、予定工事が早期に完了しバスの代替輸送費等が減額となったことを確認しました。

高坂純子議員（無会派）



QRコード



放課後等デイサービスの受入れ体制は

概ねご家族のニーズを満たせる体制を確保

※放課後等デイサービスとは障がいを持つ児童生徒の療育を目的とする

質問 国からの通知では「やむを得ない理由の場合3か月の利用児童数の平均で130%以下かつ1日15人以下であれば、定員超過の減算をする必要はない」と明記している。利用者のニーズに応じて、受入れ定員を120%まで増やすことはできないか。

答弁 仮に、定員の120%の利用があったとしても、減算の対象にはならないが、県の指導があるということとで理解を求めていくことになる。（市当局）

質問 受入れ先がなかなか見つけないと聞く。障がい児にとって必要なサービスの利用ができていないのか。

答弁 必要なサービスの提供はできている。放課後等デイサービスはあ

くまでも療育としての制度設計となっている。子どもの預け先として捉えている保護者の方もおられるので、理解を求めていく。（市当局）

買い物支援・移動販売車の今後の展開は？

質問 本年10月30日に食品スーパー「マックスバリュ」の移動販売車が来住地区で試験運行を始めたが、今後の展開は。

答弁 自治会に積極的な利用を呼びかけるとともに、事業者とも密に連携を図っていききたい。事業者からは、要望のある自治会等には対応するよう調整すると聞いている。希望自治会には受入れ体制を整えて、事業を盛り上げていただくことが大切と考える。（市当局）

各議員の顔写真の下にQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

議会と市民との懇話会

一般質問を行う日の本会議の休憩中に、傍聴に来られた方が議会での一般質問や市政等について質問することができ、議員や市当局がその場で答える懇話会を実施しています。

傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非議場にお越しください。

12月議会の懇話会の主なご質問

- 第7弾おの恋らっきゃプレミアム商品券について
- 災害時の市との連携体制について
- 共同親権について

など



民生地域常任委員会視察報告

令和7年11月5日(水)～令和7年11月7日(金)

★シェア金沢について（社会福祉法人佛子園）



✓高齢者や障がい者、子どもや学生など、様々な世代や立場の人々が「人を分け隔てしない街づくり」を目指し、「ごちゃまぜ」となって、共に暮らし、交流することをコンセプトにした多世代共生型のコミュニティ。

単に生活の場を提供するだけでなく、居住者や利用者に「生きがい」や「役割」を与えている。学生は高齢者から生活の知恵を学び、高齢者は学生に何かを教える「役割」を持つことで、社会的な孤立を防ぐよう取り組まれていた。

★スマート農業について（有限会社 安井ファーム）

✓ドローン等のICT技術を活用し、労働時間の削減と収穫量の増加により、収益性向上に繋がることを確認した。しかし、ロボットトラクター等の農業機械の導入は大区画でないと効率が悪いいため、小野市の農地でどこまでできるかが課題であると感じた。

★福井県児童科学館（福井県坂井市）

✓施設の最大の特徴は「児童館(福祉)」と「科学館(教育)」が同一敷地・同一建物内で融合している点である。大型の屋内遊具（プレイザウルス等）を目的に来館した子どもたちが、自然な動線で科学展示ゾーンへと誘導される設計となっており、「遊びの延長線上に学びがある」環境が見事に構築されていた。

★ふく育県の子育て支援について（福井県庁）



✓福井県では、所得制限なしで「第2子以降の保育料無償化」や「高校授業料の実質無償化」を実施。特筆すべきは、国基準よりも踏み込んだ「多子世帯への集中的な支援」。「二人目、三人目を産みたいが経済的に不安」という現役世代のボトルネックに対し、県独自予算で明確な回答を示している。

また、共働き率が高い同県では、男性の育児休業取得促進奨励金など、企業に対する働きかけを強化している。特に、育休取得者の業務代替を行う従業員への手当を助成するなど、現場の負担感に配慮した「休みやすい職場づくり」への支援を行うなど、先進的な取り組みを行われていた。

★視察を終えて

視察した施設や政策は、それぞれ住民のニーズにマッチしており、「多世代共生のまちづくり」から「次世代育成のための包括的な支援体制」まで、持続可能な地域社会の実現に向けた先進的かつ具体的な成功事例を学ぶことができた。これらの知見を今後の議員活動に活かしていきたい。

報告の詳細はホームページで！



議会調査研究活動

小野市議会では、議会の審査機能の強化・政策提言能力の向上のため、議会として真に必要な調査・研究活動を見定め、調査研究活動を行っています。

議員派遣

令和7年12月23日に派遣議員から視察内容に関する報告を受け、議員間で情報共有を行いました。



派遣日：令和7年10月21日～22日

派遣先	内容	派遣議員
①中東遠総合医療センター（静岡県掛川市） ②掛川市中部地域健康医療支援センター「中部ふくしあ」 ③公立西知多総合病院（愛知県東海市）	①持続可能な医療提供と病院経営の現状と課題について ②地域医療連携の現状と課題について ③地域完結型の医療体制について	掘井ひさ代 村本洋子 河島三奈 山本悟朗 河島信行

各議員の報告書は、こちらから！！



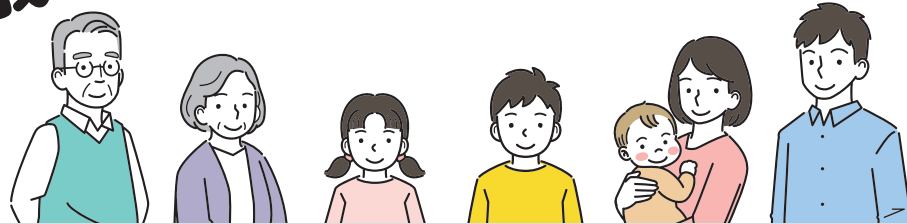
議員研修



令和7年10月29日に株式会社廣瀬行政研究所 廣瀬和彦様をお招きし、「議会機能の強化について」を演題としてご講義いただきました。

二元代表制において議員に期待される役割について改めて考える機会となりました。質問を通じて執行機関へのチェック機能を果たすこと、さらに政策提言を行うことの重要性を強く認識しました。また、質問を通じて施策の課題を見だし、議会全体で政策形成へとつなげていく方法等についても、ご教示いただきました。

議会を傍聴しませんか？



令和8年3月定例会(予定)

※変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23 天皇誕生日	24	25 本会議1日目(開会) (10:00～) 議案説明	26	27	28
3/1	2	3 託児申し込みメ (11・12日分) 手話通訳・要約筆記 申し込みメ (11・12日分)	4	5	6	7
8	9	10	11 本会議2日目 (10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	12 本会議3日目 (10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	13	14
15	16 予算決算常任委員会 (9:30～)	17 予算決算常任委員会 (10:00～)	18	19 総務文教常任委員会 (10:00～) 民生地域常任委員会 (13:30～)	20 春分の日	21
22	23	24	25 本会議4日目(閉会) (13:30～) 議案の採決など	26	27	28

※議会と市民との懇話会 … 一般質問を行う日の本会議休憩中に、傍聴者の方からご質問をいただく機会を設けています。

※託児コーナー開設 … 一般質問を行う3月11日(水)、12日(木)は、「託児コーナー」を開設します。

傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。

3月3日(火)までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

※手話通訳・要約筆記 … 本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。

希望日の8日前までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

議会傍聴者数

12月定例会
32名

(令和7年度累計99名)

傍聴方法

本会議の受付場所 市役所6階
傍聴者名簿に住所・氏名を記入

※入退場自由/定員38人

※耳が聞こえにくい方も傍聴できるよう磁気ループを設置しています。

各委員会の受付場所 市役所6階
傍聴者名簿に住所・氏名を記入

ネット中継視聴方法

本会議の様子をパソコンやスマホ等いつでも視聴できます。(ライブ中継・録画視聴) 過去2年分の録画中継が視聴できます。

小野市議会

検索



ネットで気軽に閲覧



アプリをダウンロードするとスマホに広報紙が届きます！



《お申し込み先》 議会事務局 TEL. 63-1006 (直通) FAX. 63-4108
E-mail: gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

【市議会報編集委員会】
委員長 平田真実
委員 藤原章
委員 安達哲郎
委員 前田昌宏
委員 山本麻貴子
委員 村本洋子
委員 河島三奈
委員 高坂純子

(市議会報編集委員) 前田昌宏

春はもうそこまで来ています。

《冬来りなば 春遠からじ》

開かれた議会を目指してまいります。

ご意見やご要望を市政に反映できるよう、今後も

傍聴方法をやさしく解説

しています。皆様からの

案審査の流れと本会議の

本会議」と題して、議

として「きて・みて、市議

載しました。また特集と

例会の審議内容や各常任

います。今号では12月定

まだ厳しい寒さが続いて

暦の上では春とはいえ、

あとがき